



写真：黒い実をつけるイヌツゲ（撮影：令和5年10月27日）

「イヌツゲ」

イヌツゲ *Ilex crenata* モチノキ科モチノキ属

実は野鳥、葉はシカの好物

標

高1200mのえびの高原、
毎朝気温は氷点下に下がり、

木々は葉を落とすと季節は冬に向かいます。ミズナラやブナの木もすっかり冬の装い、そんな中、日当たりの良いところに青々とした木を見つけました。密生した葉が太陽光を反射し、存在感を放つ「イヌツゲ」です。

夏に小さな花を咲かせ、秋に黒い実をつけるのですが、これは、野鳥たちにとって大切な食糧です。池めぐり自然探勝路入口の株には、秋から冬にかけてツグミやヒヨドリが群がっている姿を観察することができます。

よく枝が分岐し、刈り込みに強い
ため、園芸品種が庭木で利用されます。山でも、まるで刈り込まれたような株をあちこちで見かけます。もちろん人の作業ではなく、刈り込んだのはシカ。葉はシカの好物のようです。首を伸ばして届く高さのイヌツゲはまるで刈り込まれたようになります。

寒い冬ですが、霧島山の生きものたちはたくましく活動しています。

（文）えびのエコミュージアムセンター



えびの市
LINE公式アカウント



えびの市広報
Facebook



市観光商工課
公式インスタ
グラム【国内旅
行者向け】



市観光商工課
公式インスタ
グラム【訪日外
国人向け】



「マチイロ」
まちを好きになるアプリ

※ QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。